

# 硬式野球,軟式野球,ソフトボールの特性と発展の可能性について

中島 賢志 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導員 菅井 京子

キーワード：野球, ボール, ルール

## 1. はじめに

本研究の目的は硬式野球, 軟式野球, ソフトボールのルールの違いを調べて, ルールの違いからそれぞれの特性を考察する. そしてそれぞれの特性から, 硬式野球, 軟式野球, ソフトボール魅力を考察し, 今後の発展の可能性を明らかにすることである.

用いる主な資料は, 風早健史 (2012) 『わかりやすい野球のルール』, 『わかりやすい軟式野球のルール』, 『わかりやすいソフトボールのルール』などである.

## 2. ルールの違いと特性

硬式野球のボールは, コルクやゴムなどを芯とし, その芯を糸でグルグル巻にしていく. そしてその球状になったものを牛か馬の皮2枚で包み, 糸で縫い合わせたものがボールになるので, 堅くて重い. そのため打球や投球が速く, 遠くに飛ばすことができダイナミックなプレーが魅力である. その分ボールに当たると痛く, 危険も多いがそのリスクを克服してプレーをすることによっても, 魅力が増すと考えられる. 軟式野球ボールは, 中空ボールが使われていてゴムで出来ているので, 硬式野球に比べてボールが軽く柔らかいので, 速いボールを投げたり遠くに飛ばしたりすることが難しい. そのためヒットを連打して, 得点するということは困難であるので投手戦になることが多く, チームの守備の上手さが勝敗に大きく関わることが魅力であると考察する. 軟式野球は「軟式球」を使用する野球で硬式野球よりも巧みな技, 器用な技を必要とするスポーツと考えられる. ボールが柔らかいので, 危険が少なくボールへの恐怖心が生まれにくいことも魅力の一つであると考えられる. ソフトボールのボールは, 良質のカポック繊維又はコルクとゴム又は樹脂の合成物でできている. 良質の糸で手巻又は機械巻きにしたものである. ボールの表皮は良質の馬革, 牛革又はゴムであるため, 大きく, 重たい. ボールが大きく, 重たいので速いボールを投げたり, 遠くに飛ばしたりすることは難しい. そのため巧みな技が必要である. ソフトボールはボールのルールだけでは言えない他のルールによっての特性にも魅力がある. 投手は下

手投げだが距離が近く, 体感スピードが速くヒットが打ちにくい. そのため得点を取ることが難しいので簡単に得点を与えてはならないという緊張感も魅力である. 投手にはソフトボールだけの変化球があり, 攻略することが難しいことも魅力の一つであると考察する.

## 3. おわりに

硬式野球については, プロ野球の人気がなくなってきたのは飛ばないボールを導入されたせいであると考えられる. 安打や本塁打の数が少なくなり, ロースコアゲームが増え試合が盛り上がりや欠くようになったために観客動員数の減少に繋がったと言われている. これから, さらに硬式野球を発展させていくためにはプロ野球の人気は必要だと考えられる. 私は硬式野球の魅力はダイナミックさとスピードにあると考えているので, プロ野球の人気を取り戻すには, 現在使われている「飛ばないボールの導入」を考え直さなければならぬと思われる. 「軟式球」を使用する軟式野球は, 硬式野球よりも巧みな技, 器用な技を必要とするスポーツと考えられる. 硬式よりも打つことは難しいがその難しい中打つ楽しさがある. 軟式に始まり軟式に終わると言われるのは, このことから考えられる. そのためプロを中心とする硬式野球を過度に意識することなく, 生涯スポーツとして独自の発展をすると考えられる. ソフトボールは巧みな技が必要である. 投手には硬式野球, 軟式野球にはないソフトボールだけの変化球があり, 攻略することが難しいことも魅力の一つであると考えられる. 投手は下手投げだが距離が近く, 体感スピードが速いのでヒットが打ちにくい. 投手との距離が近く体感スピードが速いのでヒットが打ちにくい, その難しさの中打つことに楽しさがある. 硬式野球のスピード, 軟式野球の巧みさ, 二つの良いところを合わせ持ったものである. その特性を強めるために, 色々なルールが追加されている. 例えば, 巧みさに関わる投手は下手投げ, スピードに関わるマウンドが近いというルールである. そのルールが追加されているため野球とは違うスポーツとして独立して発展していくのではないかと考えられる.